

農山漁村振興交付金(山村活性化対策) 評価シート

1. 事業実施主体(評価者)	マロンの里を元気にする協議会	事業開始年度	目標年度	事業実施期間
2. 取組振興山村名	大竹市	平成30年度	令和2年度	令和2年6月5日～令和3年3月31日
3. 事業費(うち国費)	8,722,264円(8,722,264円)			
4. 第三者氏名	大竹地域産業振興センター 元センター長 正重 賢二			
5. 事業評価				
総合評価				
○ 取組の実施状況や目標の達成に必要な取組が十分に行われたか。 (①から④までを踏まえた総合的な評価)		(評価理由及び助言等のコメント)		
評価 (該当に○)	(A) (B) (C)重点指導対象	令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、イベント等が実施できなかったものの、協議会での様々な媒体などへのPR等を通じた取り組みを行うことで、利用客を昨年、一昨年より伸ばし、売り上げも大幅に増やしたのは評価できる。これまでの取り組みでどのような取り組みをしたら利用客・売上を伸ばせるかがつかめたはずなので、さらなる取り組みを期待する。また、HPやSNSも積極的な発信は評価できるが、常に工夫することが求められるツールであるため、現状に満足せず積極的な情報発信を行ってほしい。給食センターへの農産物出荷量(販売額)の減少はコロナ禍でしようがない面もあるが、呼びかけを積極的に行っており今後も地産地消の取り組みとして継続してもらいたい。		
① 取組状況				
○ 目標の達成に資するための取組が行われたか。		(評価理由及び助言等のコメント)		
評価 (該当に○)	(A) (B) (C)重点指導対象	自らのHPやSNSだけでなく、報道機関や市の広報紙など使えるものを有効活用して、イベントができないなか集客を図ったのは評価できる。今後も、新商品のさらなる販売促進の取り組みや、新商品の開発などを行い、売上に貢献できるような取組にしてもらいたい。また、栗の生産拡大について色々と議論されたようだが、課題を整理し拡大に向けた取り組みを行ってほしい。		
② 事業実績				
○ 事業実施計画の目標は達成できているか。		(評価理由及び助言等のコメント)		
評価 (該当に○)	(A) (B) (C)重点指導対象	マロンの里交流館の売上の目標は、直売所の売上を大幅に伸ばしたのは評価できる。また、雇用についても目標を達成している。しかし、給食センターの出荷額について、新型コロナの影響で学校が休校となったために実績が目標の50%を割っているため評価はCとする。給食への出荷は1年目、2年目と順調に伸ばしており、3年目は新型コロナウイルスの影響が出て減少したが、出荷者への説明会を行い出荷を呼びかけるなどの取り組みを行っており、来年以降に期待する。		
③ 実施体制				
○ 事業実施主体の取組体制は十分に機能したか。		(評価理由及び助言等のコメント)		
評価 (該当に○)	(A) (B) (C)重点指導対象	会長や雇用した事務局員を中心に毎月継続して協議会を開催して小規模ながらできる範囲での朝市の開催や、市役所での地産地消キャンペーン、HPの改良を行っている。でき得る限りで工夫しながら取り組んでいることは評価できる。今後もマロンの里を活性化させる核として、企画・実行して欲しい。		
④ その他				

※複数名の学識経験者等第三者から意見聴取している場合、第三者間で調整した意見結果を記載する。